

# SHOW HEY シネマールーム

★★★

## STAR WARS 最後のジェダイ

2017年/アメリカ映画

配給：ウォルト・ディズニー・ジャパン/152分

2017(平成29)年12月23日鑑賞

TOHOシネマズ西宮OS

### Data

監督：ライアン・ジョンソン

原作：ジョージ・ルーカス『スター・ウォーズ』

出演：デ이지ー・リドリー/ジョン・ボヤーガ/アダム・ドライバー/オスカー・アイザック/マーク・ハミル/キャリー・フィッシャー/ルビタ・ニョンゴ/ドナルド・グリーソン/アンソニー・ダニエルズ/グウェンドリン・クリスティー/アンディ・サーキス

### ■■■ショートコメント■■■

◆本作は大人気作品だけにチラシの種類も多いが、その1つのイントロダクションは、次の通りだ。

世界各国で空前の大ヒットを記録した

STAR WARS  
フォースの覚醒  
のその後を描く

スター・ウォーズ  
SWシリーズ最新作

最新作「スター・ウォーズ/最後のジェダイ」。

それは、ハン・ソロの死によって、NEWジェネレーションへと引き継がれた

鮮やかな<光と闇><善と悪>の壮大なドラマ。

独裁をもくろむファースト・オーダーと、抵抗するレジスタンスが戦う世界で、  
フォースの力に目覚めたヒロイン、レイ。

レイとジェダイの騎士唯一の生き残り、ルーク・スカイウォーカーが会おう時、銀河に何が?

そして、父親ハン・ソロを自らの手で殺し、フォースの暗黒面へと堕ちたカイロ・レン。

父ダース・ベイダーの跡を継ぐ者として、ファースト・オーダーで頭角を現す彼の野望の行く先は?

さらに、レジスタンスを率いるカイロ・レンの母親レイアと、

ポー、フィン、BB-8らレジスタンスたちの新たなるミッションとは?

ついにドラマは動き出し、謎が謎を呼ぶクライマックスの絶頂へ――

12.15、前作を遥かに凌ぐ、衝撃に備えよ。

◆『STAR WARS』シリーズの第8作目となる本作の主演は、次の3人だ。



つまり、本作の主演は、レジスタンスの若きヒロイン、レイ（デージー・リドリ）。そのライバルとなるのは、若き日に父親ハン・ソロを自ら殺したカイロ・レン（アダム・ドライバー）。そして、ストーリー全編にわたって存在感を見せ続け、クライマックスではカイロ・レンと対決する伝説のジェダイ、ルーク・スカイウォーカー（マーク・ハミル）の3人だ。

◆本作は2015年に新たに始まった3部作の2作目だが、本作を理解するためには、1977年から始まった第1作『新たなる希望』をはじめとするシリーズ全体の理解が不可欠。

シリーズが続くにつれて、ストーリーと人物相関図が複雑になっていくのは仕方ない。しかし、その基本構造は、①銀河系の支配を目論むファースト・オーダーVSそれを阻止しようと抵抗するレジスタンスとの「対立構造」だから、②ジェダイの騎士や悪のフォース等のキーワードを理解し、③個々の登場人物のキャラを理解すれば、自ずからストーリーはわかってくる。さらに、シリーズ開始40年となり、その第8作目ともなれば、「世代交代」の視点も不可欠だ。

本作では、ルーク・スカイウォーカーやレイア姫ことレイア・オーガナ（キャリー・フィッシャー）も登場するが、当然レイとその対立軸としてのカイロ・レンが主演となる。また、その世代の若き戦士たちが、フィン（ジョン・ボヤーガ）、ポー・ダメロン（オスカ・アイザック）、マズ・カナタ（ルピタ・ニョンゴ）たちだ。

◆満を持しての登場だけに本作が2時間32分という長尺になるのはやむを得ない。また、金をかけ企画を練ってきただけに、それなりの面白さと興奮力を持っていることは間違いない。しかし、私にはそろそろ「飽きてきた感」が。ハッキリ言って、私には本作より

も、この直後に観たジャッキー・チェンの『カンフー・ヨガ』（17年）の方が、単純だけれどもよほど楽しめたが・・・。

2017（平成29）年12月26日記